総務文教

地域ブランド等の確立による地域振興に学ぶ

会議であいさつする鈴木正範委員長（石垣市役所）

７月2日～4日
沖縄県石垣市・竹富町視察研修

石垣市では、「石垣牛」「石垣の塩」「八重山かまぼこ」など、いわゆる「地域ブランド」の商標登録を支援し、それらを地域振興につなげています。

また、文化庁の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている竹富島の農村集落等についても、竹富町独自の景観保存条例等により、沖縄の原風景といわれる古琉球の様式を踏襲した集落景観の維持・保全に努めています。

今までサトウキビを主とした農業と観光事業を復興の大きな柱として取り組んできた地域は、これに「石垣牛」等の生産を中心とした畜産業を加えるとともに、観光事業の新たな分野にも力を注いでいます。

今後は、幅と奥行きのある観光を模索するとともに、特産品開発においても、より一層の好奇心と情熱、そして、不退転の心構えで取り組む必要があると感じました。

産業厚生

動き出す日本向け花卉（かき）栽培

7月9日～13日 グリーンプランM&F視察（ラオス）

観葉植物の栽培状況を視察する委員

南アジアの小国、ラオス人民民主共和国は、近年、安い労働力や広大な未利用地を背景として日本企業などの投資を呼び込み、農業分野を中心に発展を遂げています。

主要作物は主食である「餅米」の栽培が、実に総耕作面積の９割を占めているため、国民の収入は少なく、肥料や農薬代も高いため、結果的に有機農法が主流になっています。

今回視察した「グリーンプランM&F」は、愛知県の花卉生産会社が投資して「洋ラン」を中心に観葉植物を試験栽培している農園でしたが、栽培方法は「暑さの利」を活かし、平地に遮光ネットを張った簡易なものでした。

今後は、日本円で日当３００円程度という安い労働力などを背景に、国有地を借上げて規模を拡大し、日本はもとより、中国や韓国向けの観葉植物を栽培していきたいとのことでした。

議会だよりの研修で来訪した市町村議会（平成21年７月～９月）

- ７月23日　宮城県大郷町議会
- 〃 29日　富山県南砺市議会
- 〃 31日　新潟県村上市議会
- ８月11日　宮城県丸森町議会
- 〃 19日　埼玉県滑川町議会
- ９月28日　福島県浪江町議会

一般質問

古紙等の回収方法を見直せ

山田町長／回収に見合う売上げが得られない

塩 平成20年度は、古紙等の販売金額が20万円余あると報じられています。
毎週土曜日に民間業者が庭先から古紙を集めていく実状を町としては承知していますか。
役場で回収して販売すれば、いくらかでも町の収入になるとしたら、町で庭先まで出向いて回収すべきではないですか。

町長 民間業者の回収地区および回収量等については把握していません。
町で回収した古紙は、富岡町の双葉エコ・リサイクル協同組合に買取りをいただいているところです。
平成21年度は買取単価が大きく値下がりしたため、試算によれば、売上総額は約4分の1の5万円程度になる見込みです。
このような状況から費用対効果を考慮しますと、民間業者の利用によるゴミの減量化が懸命かと考えます。

選挙ポスター掲示板の掲示場所を変更せよ

山田町長／より良い場所に設置したい

塩 選挙ポスターの掲示板が現在の設置場所になったのはいつ頃からですか。
現在は人が歩いていた時代と違って車社会となり、いろいろな不都合も生じていると思われますが、変更する考えはありませんか。

町長 昭和59年から設置されていますが、選挙管理委員会と話し合い、より良い場所への設置に努めていきます。

選挙ポスター掲示板

塩　史子議員

投票所への入場を土足可能に改めよ

山田町長／土足で投票できるように改める

塩 本町の衆議院議員選挙の投票率は、県内の自治体と比べ低い方に位置づけられました。
高齢者の中には、投票に出向いた際に靴を履き替えるのを嫌って投票に行かない方もおります。
すべての投票所を土足のまま投票できるように改めるべきではないですか。

町長 現在、土足のまま投票できる投票所は1箇所ですので、投票率のアップ、そして町民へのより一層の便宜をはかるためにも、選挙管理委員会と話し合い、他の2箇所についても土足で投票できるように改善して行く考えです。